

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2023年9月1日 240号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

米国チームがレダを体験



パクーの水揚げ。7月21日



パクーの餌やり。7月20日



養豚場でブタに触れる。7月21日



パラグアイ川で釣り体験。7月23日



カナン牧場で乗馬体験。7月22日

レダで最も美しかったものは笑顔でした
チャパボラ三期生によるレポート…去る7月19日から23日にかけて、米国から来た9名のチームがレダで奉仕活動と体験学習を行いました。メンバーは男性6名、女性3名、うち青年は5名で、シニアが4名。最年少は16歳で最年長が71歳でした。一日の基本的なスケジュールは、6時30分：訓読会、7時30分：朝食、8時30分：午前の活動を開始、12時：昼食と休憩、13時30分：午後の活動、18時：夕食、その後祈祷会をもって解散。7月19日 船でパラグアイ川を北上し、朝5時ごろレダに到着。そのまま船上で日の出を迎え、レダ体験が始まりました。7時過ぎに岩澤所長を始めとするレダのメンバーが集合し、全員で船から研修所へ移動。各部屋に案内しました。ここに来るまでの長い旅の疲れと洗濯物が溜まっているだろうということで、簡単な案内をして一時解散となりました。お昼は食堂でレダのメンバーと共に昼食。その後、青年たちはサッカーを楽しみました。日・米・インディヘナが男女国籍関係なく参加しました。夕方に映画「ミッシェン」を鑑賞しました。夕食後の歓迎会ではキーカット、一家で移住された島田家の歌の披露、記念撮影。夕食後の祈祷会ではレダ青年を代表して木塚さんの証。7月20日 訓読会の後、パクーの餌やりに行きました。午前のメインは岩澤所長のレダプロジェクトについての講義。その後、研修所テラスでデイスカッションの時間を持ちました。午後は施設案内ツアー。公館、発電室、食品開発工房（パクーの魚肉加工場、蒲鉾やチヨリソーを試食）、エビの養殖研究場、上下水道施設、大講堂を順に見学して回りました。夕食後、空に雲がなく、月は新月に近かったため、星を鑑賞しました。7月21日 まず農場を訪れ、栽培中の野菜や苗木などを見学。その後トラックで少し離れた養豚場へ行き、放牧されている豚に手を触れられる距離で、餌のトウモロコシをやりました。基地に戻ってからはパクーの水揚げ。青年たちは網を持ち、養殖池の中に入っていました。大きな網で囲いながら一カ所に追い込んだパクーを、手網ですくい上げて収穫しました。午後は、午前中に水揚げしたパクーの内臓を取り除いて冷凍保存していく作業。養殖の責任者である滝川さんの説明を聞き、各人が包丁を持ち、内臓をさばっていきます。インディヘナ従業員の方々に手伝ってもらいながら、この日に水揚げしたすべてのパクーをきれいに処理しました。（次面につづく）



青年と荷物を積んだトラックが研修所に向かう。7月19日



アメリカのチームを出迎えるレダのメンバー。7月19日



レダの公館を訪問。7月20日



アメリカのチームを歓迎する夕べ。ケーキカット、歌の披露なども。7月19日



初めて迎える朝、美しいレダの日の出に見入る。7月20日



レダの第一農場にて、大元氏(手前)の説明を聴く。7月21日

アメリカ隊 (二面より続く)

7月22日 この日は朝からカナン牧場へポートで移動し、乗馬などを体験しました。レダ基地は、広大な日陽園の南東のコーナーに位置するのですが、そこから10キロほど北方にカナン牧場があります。そこは、牛の放牧をするための拠点地です。

一行がカナン牧場に到着すると、まずそこで働いている牧童たちが紹介され、続いて牛の放牧の様子を見学しました。

その後、乗馬体験の時間が設けられました。二頭の準備された馬に全員が順番に乗り、牧童に手綱を引いてもらいながら乗馬を楽しみました。慣れてくると、自分で手綱を操って走り出す人もいました。

お昼は野趣のある牧場食。牧場スタッフが作ってくれた食事を美味しくいただきました。その後、再びポートに乗ってレダに。夜の折祷会では、シニアスタッフの佐野先生の証を聴きました。

7月23日 活動最終日は、一日かけて釣り体験。三つの班に分かれてポートに乗り、パラグアイ川で各種の魚を釣り上げました。夜は歓送会。個人やグループで歌を歌い、またこの期間の感想を共有しました。

7月24日 7時頃、ツアーメンバーは来た時と同じように、船に乗ってレダから出発していきました。

参加者の感想 26歳 女性

まず、この地に来れたことに感謝しています。レダに到着した時にとっても平安を感じました。アメリカにいた時は仕事やカープ等の活動で忙しくて、心が落ち着きませんでした。家族の中にも気になることがあつて、あまり感謝の生活ができなかったのです。でもレダにきて平和を見つけたのです。

レダはとてもきれいで、夜空の星を見たのですが、あんなきれいな星を見たことは



ほら、良く成長したパクーです。7月21日



レダの飛行場にて。1名はチャバボラ。7月20日



カナン牧場にて。7月22日



歓送会の後、別れを惜しんで。7月24日



パラグアイ川で釣り。7月23日



工夫と改良のなされた料理が並ぶレダの大食堂。7月19日～



星を見る夕べ。南十字座はあそこに。7月20日

ありませんでした。日の出と日の入りも、とても美しかったです。動物も可愛かった。でも一番美しかったのは、レダの皆さんの笑顔でした。作業は難しいし、苦しいと思うのですが、いつも笑顔でいて、信じられないと思いました。

養殖池でパクーの水揚げを体験した後は、とても体が疲れて何もできなかったのですが、レダのメンバーの皆さんが毎日していることだと思ふと、どうしてそのようにできるのだろうかと思いました。でも神様と、パンタナールの地で歩まれた文先生夫妻の心情を感じました。苦しくても、いつも御夫妻が感謝されているのを、レダの皆さんを通して感じました。私も感謝と希望をもって歩んでいきたいです。

参加者の感想 63歳 男性

4日間ありがとうございました。あつという間でした。本当に感謝しています。何もかも新鮮で刺激的で感銘を受けました。この地に降り立った時に思いがこみあげてきて、涙が出ました。日本・韓国の対極地である南米で、文先生夫妻から願いを託され、初期から精誠を尽くしてこられた方々、色々な思いを通過しながらきた方々、また色々な人と話す機会を得る中で、それぞれが課題や悩みなどを抱えながらも一生懸命、工夫しながらより良い方向にもっていかしているのを感じました。

次の世代が希望をもって来れるように、我々アメリカンメンバーもアメリカで何が出来るか、どんな援助や協力ができるか、実際に見て思った世界があります。今回体験させて頂いた一つ一つ、これまで体験したことのないことがたくさんありました。その体験した内容が証になっていけたらいいと思います。ありがとうございます。

(「南米遠望」は休ませていただきます。)

第26回パンタナールワンデイセミナー

左記の要領で開催いたします。

●日時…9月30日(土) 9時45分開会、16時終了予定
受付は9時30分から始めます。

●会場…国立オリンピック記念青少年総合センター、センター棟、4階120室

●アクセス…小田急線「参宮橋駅」から徒歩7分、または渋谷駅西口1番乗り場にて「宿51」京王バスに乗車、「代々木五丁目」下車すぐ。

●参加費…2000円、青年は1000円(いずれも昼食を含む)当日受付にてお納めください。

●主催…一般社団法人南北米福地開発協会

ロゴマークは『102』

102

レダはあなたの力を求めています

第26回 パンタナール1dayセミナー

1620年、神の手に導かれて新大陸のプリマスに上陸したピルグリム・ファーザーズたちは102名。1999年、南米パラグアイのオリンポにて、レダ開発のミッションを託された初代パイオニアたちも102名。そして今、未来に向けてレダプロジェクトを継承・発展させていく、新たなパイオニアが求められています。

本セミナーでは、レダ開拓がどのように始まり、今どんな姿なのか? レダの歩みと現状、そして目指す未来構想をわかりやすくご紹介いたします。

主なプログラム(予定)

- 「レダプロジェクト提唱者の思想とレダ開拓史」講師…柴沼邦彦(当法人理事)
- 「レダプロジェクトの現状と今後のビジョン」中田欣宏(当法人代表理事)
- 青年局報告…藤生輝彦(青年局長)
- 分科会(各講師を囲んで親しく質疑応答・懇談)
- 参加を希望される方は、メールまたはファックス

で、下記の当法人事務局あてお申し込み込みください。また、左のQRコードからお申し込みいただけます。



紹介映像



参加申込み



レダのブログ

レダの電気屋さん

【第2回】少し前になります。ポンプ小屋に繋がっている電気配線が立木に少しかかっていたので、その木を切ろうとしたときのことです。その木を切るためには、ポンプ小屋からその木の周辺まで雑草を刈らなければなりません。大した距離ではないのですが、刈っても刈ってもなかなか木に近づかない。

「何で一本の木を切るのにこんなに邪魔をするのか?」と思いました。すると「邪魔をしているのではなく守っているんだ」と返事が返ってきました。その時、私は大きな勘違いをしていたことに気付かされました。

植物同士は、栄養分や太陽光を取り合っていると思っていたのですが、実はお互いの違いを生かすことで、様々な環境から身を守るように共生しているのだということでした。もし、本当に取り合っているのであれば、一番強い植物だけが残るはずですが、しかし、実際にはそうなっていません。

そんな共生の輪に加えていただきたくという思いで、その立木を切らせていただきました。(山崎茂章)



多種多様な植物が生い茂る自然環境。上にポンプ小屋への電気配線。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: https://asd-nsa.com

Facebook: https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>

レダの動画

1. 走るアメリカ・レア 8月6日
2. パカーの引っ越し (1) 8月8日
3. パカーの引っ越し (2) 8月8日
4. 第5回エスペランサ村教育P 7月6日(FB)

